夕刊
新京日日新聞
定價 一ヶ月 [illegible]　郵稅 一ヶ月 [illegible]
新京永樂町四丁目一番地
發行所 新京日日新聞社
電話 [illegible]
發行人 十河 [illegible]
編輯人 松本 [illegible]
印刷人 谷 [illegible]

邦人漁夫殺害賠償金 東京駐在領事が手交
蘇聯政府から太田大使に通告

【東京二十八日發國通】蘇聯邦政府は二十六日在モスクワ太田大使宛富美丸乘組漁夫三名の虐殺に對する六萬四千圓の賠償金支拂ひに對し次の如き手續きを通告して來た

一、ソ政府は賠償金支拂ひを在東京ソ聯邦總領事ゼレズニヤコフに委任す
一、ソ聯支拂人は右賠償金を日本外務省の指示する受取人に交附すべし
一、賠償金はソ政府交附日のフランスフラン相場に換算して支拂ふべし

行財政刷新の爲 奉天省縣長の大異動を行ふ
好評を以て迎へられて居る

【奉天二十八日發國通】奉天省長臧式毅氏は省內行財政の刷新、人物登用の爲省內十七縣長の一大更迭を斷行、本二十八日正式に發表した、新く臧省長が省內五十八縣中十七縣に亘り縣長の大更迭を斷行したのは建國以來未曾有の事であつて

一、病氣靜養の爲辭職を申請しつつあるを許可し
一、老朽にして縣の治績十分に擧らざるものに待命を命じ
一、建國以來の功勞者を拔擢し
一、新進の人材を登用し以て適材を適所に据えるもので之によつて省內官吏の人心を刷新し行財政の改革行はるべく奉天省內治績は更に改善さるべしと一般から非常に期待され臧省長今回の大英斷は好評を以て迎へられて居る

奉天の第四回見本市 殷盛を極む

【奉天廿八日發國通】日滿貿易の發展を圖る目的を以て開催された第四回滿洲見本市は廿八日午前九時より春日小學校に於て開始された、入口には受付と相對して滿洲國協和會が係員を派し滿洲側の來賓に色々と接得してゐる、續々と詰めかけた日滿關係者は一千名を突破し入口から會場內に充滿してゐる、出品者は第一部廿七府縣、第二部廿六府縣、第三部廿七府縣で、十八室に整頓陳列された各地の物產は日本產業界の縮圖を見る樣である、お晝前後には沿線各地から來奉した日滿人詰め掛け益々賑やかで各府縣とも滿洲人側との商談豫想外に多く大連に於けるよりもずつと多額の商談整ふものと見られてゐる

廿八日午前の東京爲替市場
ニューヨーク對日續落して二十八弗十二仙

【東京二十八日發國通】二十八日午前の東京爲替市場は同日入電のニューヨーク對日が廿八弗十二仙と半弗方續落、英米クロス亦四弗五十仙四分の一と十二仙四分の三方夫々暴落したため一擧に二十八弗臺を割つて正金銀行對米アクセプタンスレートは二十七弗四分の一先物同八分の三、市中一般も寄附き二十七弗四分の三賣と夫々六ポイント方下値を唱へるに至つた、しかし買手無く又その後上海市場日米最低が二十八弗三十六仙見當と比較的睨りを報じた爲幾分戻し氣味となり小量ながら二十八弗丁度の好賣唱へも出るに至つたが一般レートとしては二十七弗四分の三賣、廿八弗二分の一買唱へで引けた一方對英は止金レートも變らず市中レートは一志二片四分の三乃至十六分の十三賣、同十六分の十五乃至一志三片丁度賣唱へと前日に保合つた尙市場はビルの出廻り全くなく銀行間商內も付けはれず極めて閑散商狀を呈した因さして過般の英國米貨債償替問題の成立の報が傳へられて居る外別に具体的な理由は無い模樣である

正隆銀行 年四分利配
八月十二日大連で總會開會

【大連廿八日發國通】正隆銀行は今期利益處分案（配當年四分）を決定、來る八月十二日の定時總會に竹內德三郎、柳井勇三兩取締役改選と共に附議決定の筈である

學徒研究團歡迎打合せ
文敎部で開催

近く來京する滿洲產業建設學徒研究團の歡迎準備並びに八月九日開催の日滿青年大會第二回準備委員會は本日午前十時より文敎部講堂內で開催され、前回に引續き諸準備分擔等の具体的協議を行ひ午後一時半散會した

新京財界概況（三）
商工會議所調査（昭和八年五月中）

砂糖、前月に引續き商勢不振にして相場は左表の如く漸落し月中の驛到着數量も前月より四キロトンを減じ廿九キロトンにして前年同月に比すれば四七八キロトンの減少なり

會社名商標		上旬	中旬	下旬
日糖J印	四月	一九、四五〇	一九、四五〇	一九、四〇〇
	五月	一九、四〇〇	一九、二〇〇	一九、一〇〇
同N印	四月	一九、〇〇	一九、〇〇	一八、七〇
	五月	一八、七〇	一八、七〇	一八、七〇
同SH印	四月	一八、八〇	一八、八〇	一八、七〇
	五月	一八、七〇	一八、五〇	一八、六〇

紙類、相場は前月より引續き保合のまゝにして背後地方面への荷動き杜絶したる爲商內閑散驛到着數量も前月より三六二キロトンを減じ四三一キロトンに過ぎず

品種	單位	四月末	五月末
模造紙	一磅	一九五	一九〇
印刷紙	同	一九五	一九五
更紙	一磅	一一、〇	一一、五
仙錫連	一俵	三三、〇〇、〇	三三、〇〇、〇
紙（和製）有光紙	一連	一一、四〇、〇	一一、四〇、〇
古新聞	一俵	六、五〇、〇	六、五〇、〇
同（舶來）	同	品切レ	同

金物、需要は益々增加し驛到着數量は三、七九二キロトンにして前年同月より二、九七〇キロトンの增加を示し居れるが相場は依然として漸落步調を辿れり

品名	單位	四月末	五月末
丸釘（五分）	一貫	四四〇	四三、〇
釘（二時）	一樽	一三、八〇、〇	一三、五〇、〇
亞鉛引鐵板（三〇番）	一板	一、〇五、〇	一、〇五、〇
亞鉛引鐵板（二六番）	同	一、三〇、〇	一、三〇、〇
同（二六番）	同	一、六〇、〇	一、六〇、〇

工場名		四月數量	四月價格	五月數量	五月價格
寶山燐寸	生產	二三四箱	[illegible]	二、三六箱	[illegible]
	販賣	一三五箱	[illegible]	二、一七〇箱	[illegible]
長春燐寸	生產	二、一九三箱	[illegible]	一二、〇一〇箱	[illegible]
	販賣	一、七〇箱	[illegible]	一、一七三箱	[illegible]
吉林燐寸	生產	二、一〇三箱	[illegible]	一八、三天箱	[illegible]
	販賣	一、四八一箱	[illegible]	一、五六箱	[illegible]
滿洲燐寸	生產	一、六六箱	[illegible]	一、六六八箱	[illegible]
	販賣	一、四〇〇箱	[illegible]	九三五箱	[illegible]

各工場共良好の成績を擧げ居れり

海產物、關東州沿岸物の出廻り盛期に入り鯛、鯖、金頭、平目、鰆等は低落せるも朝鮮內地方面より輸入さるる鮪、鰤、鮑等は昂騰し市場鮮魚の入荷數量は三六、五七四貫此金額五六、一二六圓にして前月に比し數量にて五、六五三貫、金額にて四、八二四圓の增加を示し居れり、月中の平均鮮貨相場は左の如し

品名	單位	四月	五月
鯛	一貫	[illegible]	[illegible]
鯖	同	[illegible]	[illegible]
金頭	同	[illegible]	[illegible]
鮪	一貫	[illegible]	[illegible]
平目	同	[illegible]	[illegible]
鰆	同	[illegible]	[illegible]
鰤	同	[illegible]	[illegible]
鮑	同	[illegible]	[illegible]

麥粉、賣行は依然良好にして相場は前月より十錢方昂騰し驛到着數量は前月に比し三五九キロトンを減じたるも尙三八一〇キロトンによつて居る

品種	容量	四月末	五月末
一等粉	四九磅	[illegible]	[illegible]
二等粉	同	[illegible]	[illegible]
三等粉	同	[illegible]	[illegible]

珠玉を碎く（七十一）
無斷上映上演禁
吉井勇　（高根秀浩畫）

指環（七）

京子は默つて首垂れてゐるお澄の横顏をぢつと暫くの間見詰めてゐたが、やがて氣が付いたやうに、

「あゝ、あなたまだお詣りしないんでせう」

「えゝ……」

お澄は微に點頭きながら答へた。

「それぢやあ早くお詣りをしていらつしやいよ。話に依つたらあたしあなたの相談相手になつて上げてもいゝわ」

「それぢやあお詣りをして來ますわ」

「えゝ、行つてらつしやい。あたし……さうねえ……そこの公孫樹の木の下の處で待つてゐるわ」

嬉しさうに肩をすぼめたお澄の後姿を、京子は暫くぢつと見送つてゐたが、やがて一面にそこらに散りしいた、黃いろい公孫樹の落葉を踏みながら、ぶら〳〵そこらを逍ふやうに歩き出した。見上げるばかり高い觀音堂の屋

根には、朝日の光りが眩しいほど明るく漂つてゐた。棟瓦の上にずらりと並んでゐた鳩の群は、何に驚いたか一時に飛びたつと、まるで霰のやうに一塊になつて、ぐるりと屋根を一周りすると、きら〳〵と翼を輝かしながら、すうつと堂の前の舗石の上に降りた。もうお詣りの人がだん〳〵多くなつて來てゐたが、しかし人慣れてゐる鳩は、人怖ぢもしずに、そこらに落ちてゐる餌を漁つてゐた。

京子は立止まつて、ぶつ〳〵と餌を啄つてゐる可愛らしい鳩の群を眺めてゐたが、やがてまた觀音堂の高い屋根を見上げた。東京全市の大半が焦土となつてしまつた中に、依然としてこの觀音堂が瓦も落さず柱も焦げずに殘つたといふことは何うしても京子には奇蹟としか考へられなかつた。そんなことから彼の女は一層信仰の念を增した譯だつたがそれにしてもさういふ靈驗あらたかな觀世音のお神德が因であつたことは、彼の女が深い信仰を持つてゐるだけに、一層心殘りでならなかつた。人氣がすつかり落盡してしまつた時のことを考へると心細かつた。

京子はパラソルの先で公孫樹の落葉を一枚々々突き刺しながら、ぢつと考へ込んでゐたが、そのうち耳の傍で、

「何うもお待ち遠樣……」

といふ聲が聞えたので、不圖われに返つたやうに顏を上げた。そこにはお澄がにこ〳〵しながら佇んでゐた。お詣りをして安心したといつたやうな心持が、その淋しい顏の上に現はれてゐた。

「早かつたわね。そこらを少し歩きませうか」

京子がさういふと、お澄は家のことが氣になるらしく、

「えゝ、しかし家には兄が一人つきりですから……」

「あゝ、さう……。しかしあたし自動車で送つて上げるからちよつと位いゝでせう」

「えゝ、それなら……」

京子とお澄とは肩を並べて歩き出したが暫くすると京子はさりげない顏付で訊いた。

「あのね、大貫さん近頃あなたのところへ行つて……」

「あのう……カフエー・アオヒにですか」

「えゝ……」

「さうですねえ、四五日前……あたしが休む前の晩に、一人で遲くお見えになりましたわ」

「さう……厭な人、あすこの人達は……。あたし一昨日の晩行つて大貫さん見えますかつて訊いたら、いゝえ、近頃ちつともお見えになりませんといふのよ」

「さうですか。あすこの人達はそりやあ大貫さんで、大變なんですよ」

「さうでせう。それだからあんなことをいふんだわ」

京子はちつと唇を嚙むやうにして口を噤んだ。と暫く沈默が續いた後でお澄が訊いた。

「あの……女優つてむづかしいもんでせうか」

故武藤元帥本葬儀準國葬となる豫定

委員長には林大將選任されん

軍事參議官會議で協議

(東京二十八日發國通) 二十八日午前八時陸軍省に非公式に軍事參議官會議を召集し、故武藤元帥の葬儀を協議したが、葬儀委員長には軍事參議官中の古參者南大將が當る順序ではあるが、今回は教育總監として關係最も深い林大將が委員長となる模樣で副委員長には柳川、植田、香椎、の三中將及重光外務次官河田拓務次官等がなり、委員としては關係各省高等官六名か四名を銓衡、準國葬として執行される豫定である

八月六日 青山齋場で

(東京二十八日發國通) 陸軍葬儀令による故武藤元帥の葬儀日取は陸軍で協議の結果、八月六日午後一時より青山齋場で執行することに內定した、葬儀委員長は眞崎大將か林大將となる模樣である

東京驛歸還の際は凱旋將軍の禮を賜る

(東京廿八日發國通) 故武藤元帥の遺骸が東京驛着の場合は故白川大將の例にならひ凱旋將軍の禮を賜り宮內省差廻しの自動車で自宅へ送られる尚當日は大臣以下が出迎へ儀仗衛兵として中尉若しくは少尉の指揮する步兵一ケ小隊が驛內外を固め、在京の步兵二ケ聯隊が堵列して迎へる筈

元帥姿も今は亡し

經濟會議休會と外務當局の見解

(東京二十八日發國通) 經濟會議休會問題に外務當局は、左の見解を本日表明した

世界の不況打開の目的を遂せず休會したのは遺憾にたへぬ、恐るゝところはこれが事實上にも失敗を意味し關稅戰が激化する事だ、但し我國に關する限り休會問題は悲觀無用だ、休會後は相互的な最惠國待遇の回復を目標に列國と個別的互惠協調の方針に出ると共に、對日通商の壓迫に對し報復主義で對商する方針である

英各邦代表會議失敗を見越し

オツタワ協定諸原則を再認 廿七日新宣言に署名

(ロンドン廿七日發國通) 英本國、カナダ等英帝國各邦代表は經濟會議が事實上の全般的失敗に終つたに鑑みポンド貨に依る英帝國各邦間の經濟的結束を固め、曩のオツタワ協定の原則を經濟會議の失敗後の新た勢に照して更に強化せんとの目的の下に二十七日會合を催し、英帝國の物貨並びに[illegible]貨政策に關する新宣言に署名した、右宣言は

一、卸賣り物價の引揚げ政策

一、英帝國各邦はポンド貨に依つて聯繫ある政策を骨子とす、その內容は左の如し

イ、英帝國各邦代表は協定で既に有利なる效果に滿足するものであり、右效果は更に持續するものと信ずる

ロ、英帝國各邦代表は卸賣り價額引揚げの必要に關するオツタワ協定の諸原則を再認するものだ、而して英帝國各邦代表は卸賣り物價と主要商品の價額の均衡が調整され安定狀態を達成し得るに至るまで一般物價引揚政策を追求すべきだと信ずる將來に於けるポンド貨の統制に關しては英國が他國に對して何等の言約を與へて居らぬ爲め英帝國內に於て爲替の安定を圖ることが容易となり、又他の諸國も同樣の政策を採擇すれば更に廣汎な爲替安定が可能となるだらう

英政府の同意を前提とし シムラ會商を進展か

(東京廿八日發國通) 英政府が印度代表に外交々涉權附與問題の回答をしぶるは憲法上の字句問題の影響を考慮するからと、外務當局は解釋し、依然英國が全權附與に同意せねば日本は已むを得ず全權委任狀無き儘にシムラ會商の交涉を開始しその結果得た協定案に英政府で同意するとの根本原則の諒解を得れば日本はロンドンにて調印するに[illegible]なく相當讓步するとの方針決定しその結果、英國側でもこれに同意し會議の前途は好轉すべく期待されてゐる

日印交涉帝國代表一行 一便船出發延期

(東京廿八日發國通) 日印通商條約廢棄に伴ふ善後策協議のため行ふ日印交涉に臨む英國政府が印度政廳代表に外交交涉權を附與するか否かの件に關する英國政府の對日回答は當初の約束に叛き未だに外務省へ[illegible]は松平駐英大使を督勵し回答方を促して居るが右回答遲延のため印度交涉に來る八月十日出發の豫定だつた澤田代表一行は一便船遲れて八月二十四日出發することとしたが日本としては遲くも九月下旬より交涉し度き意向である

北支日本商工會議所 第一回創立總會

(東京廿九日發國通) 北支の日本商品進出擁護と發展の爲今回各地に散在する商工會議所を打つて一丸とする北支日本商工會議所なるものが成立し愈々來る八月十一日十二日兩日青島商工會議所で第一回創立總會を開催する事になつた旨二十八日在青島總領事館より本省へ公電があつた新る商工會議所の設置は支那實業團体に對して相當の刺戟を與ふべく今後の成行は注目に値する

パラセン島問題で外務省海軍側と協議

佛の態度は全く國際法違反

(東京廿八日發國通) 外務省では二十八日午後海軍側の來訪を求めパラセル群島處置問題を協議の結果平田氏の先住を無視してフランス政府が先取權を主張するのは國際法上疑義あり、先例調査の上國際法違反と判明せばフランス政府に抗議すると決定、國際法違反とならずとも平田氏の既設權益保護に關し嚴重要求を提出することゝなつた

平田氏發見のパラセル島は

佛國先取權主張の島と別個か

(東京二十八日發國通) 佛國政府の南洋群島領土權取得宣言問題の喧しい折柄二十年前南支那海のパラセル島を『發見』した臺灣實業家平田末次郎氏が上京した同氏の談によればパラセル島を發見して燐礦採取事業を始めたのは大正六年で永續的な仕事とするにはどうしても同島を領有する必要があつたので大正七年の暮頃下村臺灣總務長官を煩はして英國香港總督府と佛國印度支那總督府に同群島の所屬を訪ねたところ佛國の總督府からどんな返事が來たか記憶かなかつたが英國香港總督から同群島は支那の領土ではないかと思ふが同島の所屬は全く不明であるとの返事があつた、其の『文書』は臺灣總督府に殘つてゐる筈だ、我々は此の返事を受けたので同島を平田群島と名付け百數十萬圓を投資して事業上の諸設備をなし當時外務省政務局長芳澤謙吉、天羽外務省情報部長が廣東總領事時代に其の後援を得て同島の產業を開拓したが燐礦採取中マラリヤ病などのために同島で骨を埋めた人夫の數は百二十名もあります、自分は三年前同島を引揚げたが諸施設は今日でも殘つてゐる筈です、と平田氏は南支那海の魚群調查をやつてゐる際偶々同島を發見したものである、平田氏は同日外務省を訪問天羽情報部長と會談した、因みに同氏の『發見』したパラセル島はフランスの取得權を獲得したといふ諸島とは七百浬餘離れてゐるもので、初めこれと混同して考へられてゐたが全然別物の模樣である

閻錫山劉桂堂軍の中央加擔形勢に

早くも馮玉祥ロ領遁入準備說

(北平二十八日發國通) 馮玉祥の中央軍に備へて居る第一線部隊は赤城龍關方面にある閻錫山、劉桂堂軍の中央加擔漸く表面化せるため馮自身も愈々孤立無援の形となり到底中央軍に抗し得ずとなし最近ロシヤ遁入の準備を進めて居ると早くも一部の間に傳へられてゐる

馮玉祥に備へ

中央軍北平方面集結

(天津二十八日發國通) 蔣介石は停戰協定成立と共に、抗日戰の爲河北に移動せしめた八萬三千名の中央軍の撤退を開始し、七月十九日迄に二萬七千六百名を河北より撤退せしめたが最近馮玉祥問題の紛糾の爲め、中央軍の河北撤退を中止すると共に保定附近駐屯の中央軍を平綏線方面に移動せしめる外、新に中央軍の一部總兵力六千七百名を北上せしめ再び中央軍の北平集結を策しつゝあり、既に現在の河北駐屯中央軍は總兵力約六萬二千に上り、北平附近及び平綏、平漢沿線に駐屯萬一の場合に備へつゝある

五、一五事件

陸軍側公判 (三)

公訴事實匂坂檢察官陳述

前記計畫に基き本隊に屬する各被告人は之が決行に參加する爲昭和七年五月十五日午後四時頃より各自制規の服裝を爲し逐次陸軍士官學校を出發して夫々所定の集合場所に向ひ

第一、被告人後藤映範、同篠原市之助、同石關榮、同八木春雄、同野村三郎は一組に屬し同日午後五時頃までに靖國神社境內に於て三上卓、黑岩勇、山岸宏、村山格之と合し先づ第一段の行動を開始する爲同日午後五時十分頃同神社前に於て表門組三上卓、黑岩勇、被告人後藤映範、同石關榮、同八木春雄、裏門組山岸宏、村山格之、被告人篠原市之助、同野村三郎の二組に分れ各組毎に一輛の自動車に同乘し表門組を先頭とし共に內閣總理大臣犬養毅在の東京市麴町區永田町二丁目一番地所在內閣總理大臣官邸に向け進行し其の途中車內に於て表門組一同は黑岩勇より、裏門組一同は山岸宏より夫々武器の分配を受け又表門組三上卓は途中自動車を停めて裏門組山岸宏より拳銃(實彈裝塡)一挺及同實包若干を受取り因て表門組三上卓は拳銃(實彈裝塡)一挺、同實包若干、手榴彈一個及短刀一口を、黑岩勇は拳銃(實彈裝塡)一挺、同實包若干及短刀一口を、被告人後藤映範は拳銃(實彈裝塡)一挺を、同石關榮同八木春雄は各手榴彈一個を携帶し同日午後五時二十七、八分頃內閣總理大臣官邸表門より自動車を乘入れ表玄關に於て下車し同玄關より一同屋內に侵入し三上卓は同官邸警衛巡查部長村田嘉幸に對し首相犬養毅と面會を求め且首相の許に案內すべしと迫り更に「首相の居る所を敎へないと之だぞ」と告げ拳銃を擬して同人を脅迫したるも要を得ず又被告人後藤映範は巡查日野藤市に對し拳銃一發を發射したるも同人に命中せず次で一同首相犬養毅の所在を見めて先づ同官邸洋間を限なく搜索したるも其の所在を得ず更に同官邸日本間に通ずる廊下を見出し板戶を蹴破り右日本間に闖入し又裏門組山岸宏は短刀一口及手榴彈一個を、村山格之は拳銃(實彈裝塡)一挺及同實包若干を、被告人篠原市之助同野村三郎は各拳銃(實彈裝塡)一挺及手榴彈一個を携帶し表門組より稍後れて同時三十分頃同官邸裏門附近に至り下車し一同該裏門より進入し山岸宏の指示に依り被告人篠原市之助は同官邸日本間玄關前に在りて外部の警戒に當り他の一同と右玄關より同官邸日本間に侵入し茲に右表門組及裏門組は同官邸日本間正玄關內側の廣廊下に於て相合し一同互に首相犬養毅の所在を搜索したるが三上卓に右日本間洋式應接室に於て巡查田中五郎に對し拳銃を擬し「首相の居所を云へ」と迫りたるに同巡查が「居所なんか知るもんか」と答へ反抗的態度を示したるより同巡查に向け拳銃一發を發射して命中せしめ同人に右胸部より左側腹部に至る貫通銃創一個を與へ次で三上卓は更に進んで右日本間の食堂に到り首相犬養毅を發見し直にその前部に拳銃を向け引鉄を引きたるも該拳銃は豫て實彈一發を裝塡しありたるのみにして前記田中五郎狙擊の爲發射し了りし爲め發射せず因て拳銃を首相に擬したる儘左手に持換へ實彈一發を裝塡したるに此の時首相は手を擧げて之を制し「マア待て待て、騷がぬでも話をすれば判る」「あちらへ行かう」と云ひ同室を立出でたるより三上卓は拳銃を擬して之に追隨し且「居つたぞ、居つたぞ」と呼號しながら首相と共に日本間十五疊の客間に到りたるが山岸宏、村山格之、被告人後藤映範同石關榮、同八木春雄、同野村三郎は右呼號を聞き相次で同室に入り起立の儘首相を圍繞したるに首相は床を背にし應接卓の前に着座したる儘一同に對し「靴位脫いだらどうか」

五月末現在 國庫統計

(東京廿八日發國通) 大藏省發表＝五月末現在國庫統計

歲入 一八億五千二百九十四萬六千圓

歲出 一九億四千百五十三萬九千圓

差引 八千八百五十九萬三千圓歲入不足

となる譯であるが月末後の歲入繰入れ高實金一億七千七百萬圓有るから結局七月末は九千萬圓の歲入超過となる譯で其中歲出繰越財源五千萬圓と六年度よりの剩餘金で追加豫算に充當した分千三百萬圓を控除せば二千七、八萬圓の剩餘金があり景氣好轉の兆かとも觀られる

關東軍後方主任會議終了

關東軍後方主任會議は昨日に引續き二十八日午前九時から大使館會議室で輸送、兵站關係事務に關し重大協議を行ひ午後四時終了した

各兵團後方主任は二十九日の故武藤元帥の告別式に參列の上原隊に歸還の筈

蔣介石、黃郛に盧山會議出席を要求

(北平二十八日發國通) 蔣介石は二十七日黃郛に對し速に盧山に來るやう電命し來れり、右は專ら察哈爾問題解決商議のためと見られる

香煙空しく涙あらた

高節院純忠信義の戒名も今はかなし

けふ告別式の日雲低く垂れ柩車のすゝむ沿道の人默々

全市たゞ暗然！

故關東軍司令官、特命全權大使、關東長官、元帥陸軍大將正二位勳一等功二級男爵武藤信義氏けふ告別式の日……淋雨煙る御通夜の一夜を明した大使館官邸はけふの告別式を控へて邸內塵一つないまでに掃き清められ八の字に開かれた官邸石門に黑布をもつて竿頭を覆はれた日の丸の風にはためくのもなにとはなしに物哀しく、いかめしく門をかためる歩哨兵の眼にも一入の淋しさが漂つてゐる、この日告別式の喪主は元帥の生前專屬副官として令名あつた萬城目副官が選ばれ官邸の奥深くひたすら喪に服してゐる、午後二時本願寺大連別院贊事長小笠原彰眞師は新京西本願寺主任光岡慈昭師を從へて遺骸棺前に進み棺前經の儀あり、白木に高節院純忠信義と記されたのも今は悲し、午後三時憲兵及び警察官の先驅サイドカーを先頭に靈柩車は去年十二月以來住みなれた官邸を後に今はなき元帥の遺骸はしづ〳〵と出門この時半歳の間元帥の側近に侍り仕へ來つた西村高子さんの目頭に何やら白いものが宿したまり兼ねて遂にハンカチをもつて面を掩ふのも人々の悲しみをそそる、かくて靈柩車を先頭に續いて僧侶萬城目、志村の兩副官及び辰巳大使館附武官、鶴見、鹽原兩秘書官、橋本憲兵司令官、坂本中佐指揮の警備兵の順序で沿道市民の默送堵列する中を官邸を左折八島通りに出で水道タンク前を常盤町通りを一直線に軍司令部內式場に入つた

雨雲低く垂れ

かなしみ一入深し

＝故武藤元帥の御通夜＝

日滿兩國民の限りなき哀惜の裡に溘焉として『薨去』した武藤元帥の靜かに眠る大使官邸は二十八日朝來日滿官民の弔問ひきも切らず霖雨の中に日は暮れて御通夜に入つたが八時頃早くも鄭國務總理宇佐美顧問を始め各部總長、林滿鐵總裁並びに各理事其他日滿官民多數續々詰かけ邸內は故元帥の威德をしのぶ官民代表に依つて埋めつくされた、小磯參謀長、岡村副長、橋本憲兵司令官以下關東軍各部員、栗原總領事を始め大使館員日下內務局長以下關東廳首腦部は既に早くより參集、天皇、皇后兩陛下御下賜の御供物並びに各要路より夫々供へられた大小の花環と供物に飾はれて燦然たる佛壇の兩側に居並び廊下まで溢れた默々たる人々の靜かな集りの中に午後九時より來京各宗代表僧侶八名の讀經あり寂然たる『庭內』に朗々たる讀經の聲がしみ渡り一入悲しみを深くした、斯くて雨雲低く垂れた官邸の夜は悲しみの裡に靜かに更けて行つた

在滿將士慰靈祭燒香の故將軍の姿も今は思ひ出

大谷光照師染筆の戒名おくらる

高節院純忠信義

故關東軍司令官特命全權大使關東長官、元帥陸軍大將、正二位勳一等功二級男爵武藤信義氏の戒名は二十八日夜京都西本願寺から高節院純忠信義と授ける旨電報があり右戒名は法主大谷光照師親ら染筆のものであると

午後三時半三奉請行はる

新京佛教團も參列

三時半式場では導師小笠原彰眞師の調聲で、衆僧を率ひ三奉請が行はれることになり滿鐵沿線各地から來京した西本願寺派の僧侶十名の外新京佛教團の各宗から參列する

張熱河省長

告別式に參列

（奉天二十八日發國通）武藤全權逝去の報に接した熱河省長張海鵬氏は昨朝熱河發午後四時著の飛行機で來奉したが二十九日の同全權告別式に參列の爲め旅裝を解く間もなく昨日午後十一時發列車にて新京に赴いた

遺骸は今夜軍司令官室に安置

愈よ明朝新京發

武藤軍司令官の告別式は既報の如く二十九日午後四時より執行され葬儀終了後の司令官の遺骸は直に軍司令官室に安置して通夜を行ひ三十日午前七時三十分司令部を出發し先驅の憲兵、警察の嚴重な警戒裡に靈柩車は進み其の背後に喪主萬城目少佐位牌を捧持し元帥徽章、元帥刀、辰巳少佐志村大尉、鹽原、鶴見兩秘書官、小磯委員長、橋本警備司令官等相續いで新京驛に向ひ道路の西側は日本側學生、團体等、東側は滿洲國學生、團体等でこれを奉送し新京驛では日滿兩軍隊及一般が奉送する

宇佐美、筑紫山成三氏

日系官吏を代表靈柩を送る

三十日午前八時二十分新京發凱旋の途につく故武藤元帥の靈柩を、日系滿洲國官吏代表として宇佐美顧問、筑紫參議山成中銀副總裁の三氏が大連まで見送ることゝなつた

弔旗と奉送を

―ぜひ忘れぬやうに―

けふ滯りなく告別式を終へ故武藤元帥の遺骸はいよ〳〵明三十日午前七時三十分軍司令部發、午前七時五十分靈柩車內に奉遷午前八時二十分新京驛を出發致します、皆さん各戶には必ず弔旗を掲げ當日は一家殘らず奉送申上げませう

靈柩列車の沿線通過時刻

三十日午前八時二十分新京驛を發した武藤軍司令官の靈柩列車の各驛主要驛發着時刻は左の如くである

驛名	到着	出發
新京發		八時二十分
公主嶺	九時二十分	九時廿一分
四平街	十時九分	十時十一分
鐵嶺	十一時五十二分	十一時五十六分
奉天	十二時五十四分	十三時四分
蘇家屯	十三時廿分	十三時廿二分
遼陽	十三時五十九分	十四時
鞍山	十四時廿三分	十四時廿四分
海城	十五時	十五時一分
大石橋	十五時卅分	十五時卅四分
熊岳城	十六時廿八分	十六時卅三分
瓦房店	十七時四十二分	十七時四十七分
大連	十九時十分	十九時十一分
埠頭	十九時廿分	

少年時代の―故武藤元帥

思ひ出のかずく（二）

代用教員から堅い決心 笈をおひ東都へ

武藤少年は土地の牛簡田小學校を卒業するとき校長先生にお願ひして母校の代用教員を勤めることになつた、その時はまだ十三歳、月給もたつた五十錢であつたが彼は月給日になると月給袋をそのまゝお母さんの前に「どうぞ何かの足しに使つて下さい」と差出した、そうして自分は一錢の小遣も使はずに押通したといふからえらいお母さんもわが子の親切を喜び、その輕い月給袋を押し戴いて佛壇に上げ、亡きお父さんに報告するのが常であつたそうだ、ところがこの武藤先生歳がゆかないうへに丈が低いので黑板に手が屆かない、いつも生徒に踏台を持つて來させて書くので誰れいふとなく「踏台先生」のニツクネームを生徒逹から頂戴したものだ

□　□

さり乍らこの踏台先生歳こそ若いがなか〳〵しつかり屋でしかも至つて親切なので生徒たちから兄さんのやうに慕はれたものだ、そうこうするうちに四年の春秋が過ぎ歳十七鯖田川のほとりで機動演習が行はれたのを見て、彼は魂のふるへるやうな興奮を覺えたのだつた

「なんとかして東京へ出やう、そうしてお母さんに樂させやう」

彼が軍人を選び教導團のある東京へゆくべく最後の決心をしたのはその時である、瘦せ細つた母親にこのうへ我儘をいふのは堪らなかつたに違ひないが、一旦かうと思ひつめた彼はそうなざ〳〵と諦めて終ふことは出來なかつた、恐る〳〵お母さんに相談すると「よろしい、行つていらつしやい、きつと成功して來なさい私は神かけて成功をお祈りしてゐますよ」

勵ますお母さんの聲にも力があつた

□　□

お母さんはやがて佛壇から一束の紙包を出して「せめてはこれを旅費にして……」と差出された、信義少年は不審げにこれを解いて見ると「おや、これは……」と思はず驚きの聲を立てたのも無理はない、それはこの四年の間毎月々々差上げてゐた月給袋がお金そのまゝ這入つてゐるのだから「私はきつとこんなことはあらうと思つて……」「あゝほんとにすみません〳〵」あとは母子相抱いて淚に暮れるのであつた、かうして嬉しくもあり、また悲しくもある出發の日を迎へることになつた

アルメニア人

哀悼の意を表す

料亭でも歌舞音曲遠慮

ダンスホールキヤピタル、同新京會館は武藤元帥薨去のため二十八日は閉館して弔意を表し同日本橋通モデルン始め在京アルメニア人は哀悼の意を表し歌舞を遠慮する旨を廣くしたが新京料理店組合も申合せて二十九日は歌舞音曲を遠慮し弔意を表すことゝなつた

明治大帝を偲び奉つる晨

三十日朝西公園で

七月三十日は明治天皇の御命日に相當するので例年の如く西公園誠忠碑前にて市民早起會主催（明治大帝を偲び奉る晨）の集ひを催されるので一般の參會を望む由（開會午前五時半、閉會同七時）

慶應野球部今晩來京

あす午後對戰

慶應野球部選手一行は二十九日午後七時五十分來京翌三十日午後三時西公園グラウンドで新京軍と對戰することに變更された、なほ滿洲電軍との試合は當日引續き行はれるか翌三十一日になるか目下のところ不明である

東亞産業協會披露宴中止

八月一日午後七時からヤマトホテル納涼園で發會式を行ふことになつてゐた、東亞産業協會の披露は武藤軍司令官薨去につき遠慮中止された

元横綱西の海

腹膜炎で死去

（東京二十八日發國通）元横綱西の海伊勢助事松山伊勢助（四四）は二十八日午後二時半腹膜炎で死去した、昭和三年廢退して年寄となつたものである

薨去を悼む人々

發展期して待つ秋 痛惜に堪へず

齋藤首相暗然として語る

（東京二十八日發國通）武藤元帥の訃に接した齋藤首相は暗然として語る

武藤元帥は昨年八月關東軍司令官特命全權大使、關東長官の要職に就かれ赴任早々九月十五日日滿議定書の調印を了し滿洲國の正式承認にカを盡し爾來兵匪の討伐に治安の維持に萬遺憾なきを期し更に本年に入つて熱河平定に異常の功績を舉げ皇軍の武威を發揚し且つ日滿親善の爲多大の貢獻をせられたことは今更申す迄もないことである今後にその訃報に接し驚愕痛恨の至りに堪へない、殊に滿洲國創業の基礎漸く其の緒に就き、今後の發展期して待つべき秋に當り元帥の如き德望手腕共に備はる適任者を失ひたるは啻に帝國の爲のみならず滿洲國延ひては東洋永遠の平和の爲惜しみても尙ほ餘りある次第である茲に謹しみて哀悼の意を表す

武藤元帥は天の遣はした天使だ

張軍政部長語る

（新京廿八日國通）沈默の巨人武藤元帥薨去の報を聞して軍政部總長張景惠上將を三笠町寓邸に訪へば總長は暗然として言葉少なに左の如く語る

さうさう逝去されましたか非常に殘念なことです閣下が滿洲國に着任されて以來關內の治安維持に盡された御努力と吾々の滿洲國人に示された御厚意御指導は吾々の決して忘れる事の出來ぬものです、閣下は天の惠に依つて我滿洲國に遣はされた天使であると吾々は考へてゐます、今にして想へば六月十八日大使館を訪問して御目にかゝつたのが最後でした、本月廿日ハルピンから新京に歸つて幾度もお會ひし度いと考へてゐましたが終に其の機會なく永久に御別れせねばならなくなつたことは到底筆舌で言ひ現はせぬ程殘念に思つてゐます

至誠一貫

深い省察の人

林出書記官談

議定書調印以來今日まで約一年に亘り大將の專任通譯として公私共に親しく大將の全人格に觸れて來た大使館林出書記官は、大將の薨去を悼み、いとも沈痛に左の如く語つた

日滿兩國のため誠に大きな損失と信じます御病氣が進みましてからも意識は仲々明瞭で、心臟が強いから恢復されるだらうと思ひ念じてゐましたが、全く夢のやうでした、臨終は極めて安らかで流石に德の高さを感じました

自分は今まで色々偉い人にも接して來ましたがこれほど至誠に滿ちた玉のやうな人格者を見たことはありません一日一日と崇敬感服の念を深くするばかりでした執政や國務總理との面會には何時も膝を交へて同座したのですが、誠に感情の融和に溢れた快談で、其一言一句に聰明なうるはしい人格がよく現はれてゐました執政とは大抵一時間二時間と話されてゐたが、しかし其間無駄口は一つもない全くそつのない正味ばかりでそれが少しも窮屈な堅苦しいものではなく極めて和氣藹々たる裡に萬事人事道德宗敎其の他凡ゆる社會世相の問題に亘つて話を交される、智識豐富な執政が色々問はれると元帥は一々親切に答へられる至誠一貫永い体驗と深い修養から來てゐる非常な確信ある言葉ばかりでした

元帥になられた時執政から元帥刀を見せて欲しいとのことで大將は刀を帶びて執政に會はれその時ポケツトから紙切を出して早速一首の歌を書かれた

給はりし刀の光を心とし破邪顯正の道を勵まん

それを通譯申上げたら執政は非常に感動された或時執政が「大使は沈默將軍といふ名で通つておられるやうですが……」と言はれたのに對し「いや、さう言はれてゐるやうですが夜寢て考へてみるとよく要らぬことを隨分言つております」と答へられたが、大將が如何に毎日深い省察と修養を積まれてゐたか、これでもよくわかると思ひます

去る十八日旅順黃金臺の關東長官別莊で約三時間半に亘つて國務總理と會談されたが沈默將軍の大將も、執政や國務總理にはよく膝を交へて話されたが全く無駄口のない自由談で通譯してゐると實に其全人格に敬服せざるを得ない、年が老つてからの通譯は少し批判的になつて一寸流暢を缺くし、それに言葉よりも氣分を移さなければならぬのですが、自分は大將に約一年おつきして少しも通譯の苦勞を何等感じなかつた、全く尊敬と快感の飽和した氣分で自己を忘れて實に嬉しくやりました、大將はまた部下を思ふ念實にうるはしいものだつたと思ひます、私の妻が來たことも大將は私の家族が來たことを知られて、子供に輪投、西洋人形、菓子等下さつたが、大將の濃やかな情につくづく感激しました

遺志を體して

滿洲國の發展に努力せん

臧奉天省長語る

（奉天二十八日發國通）武藤元帥逝去の報に奉天省長臧式毅氏を訪へば氏は病にやつれた面に一入憂色を湛え悄然として語る

只今武藤閣下の訃に接しましたが、今滿洲國より武藤元帥を失ふことは三千萬民衆として誠に不幸の極めであります、閣下は建國以來滿洲國の親として盡力して下さつた事は淚ぐましい程であつた、閣下は滿洲國のみならず東洋永遠の平和確立に對して確固たる抱負を持つて居られた、將にその抱負の實現を見やうとした今日突如として逝かれた事はより一層悲しみを深くする、滿洲國は建國以來僅かに二年だが閣下の努力に依つて基礎固まり諸般の事業も緒に就いた今後は、閣下の遺志を體し滿洲國の建全なる發達に一層の努力をする

と語り終つた氏は暫し追慕の念に堪えやらぬ面持で

去る十日來奉された時も訪問して色々お話を承はり赴連の折歸頭でお別れの挨拶をしたのが最後でした今は夢の樣です

民衆と共に

哀悼の意を表す

閻奉天市長談

（奉天二十八日發國通）武藤元帥逝去の報に奉天市長閻傳友氏を訪へば暗然として語る

閣下に對しては滿洲國三千萬民衆は心からお縋りしてゐた、今その人を失ふ事は實に遺憾に堪えません、元帥は人格高潔、ありし日の乃木將軍を偲ばせるものがありました、閣下はよく三千萬民衆を理解し、常に誠實を以て人に接せられた、又滿洲國民もよく閣下を慕ひ全く慈父に縋る氣持でした今更致方ありません、三千萬民衆と共に深く哀悼の意を表するものです

蜂谷總領事は語る

（奉天二十八日發國通）武藤元帥の逝去の報に蜂谷奉天總領事を訪へば左の如く語る

余り突然のことで言ふべき言葉もない、實に國家的の大損失で日本は勿論滿洲國にも痛惜に堪えない、故元帥は人格高潔立派な方で各方面よりの信望を熱心に集めて居られ此時局に處し複雜な機關を統率するには最適任者でそれ丈滿洲國として損失も大きかつた、當分は故元帥の統率の下に關係各機關が一致して時局を切拔け得ることを確信して居たが今逝去の報を得て嗟歎くばかりである

幕末異聞 愛慾火箭

(百二十八)

作 瀧川駿
畫 村瀨洗舟
(上映上演)

不思議な手紙(四)

やつとの事で、甚の聲が家の中へ屆いたらしい。玄關脇の小窓が開いた。

「何方でございます」

「大和屋、大和屋でございます」

門にかじり附いて、甚が根限りの聲を上げた。

「大和屋さんでございますか、少々……」

その男は小窓を閉めて、引き込んでゐた。入れ代つて先刻の陸尺が小者部屋から門の戸を開けに出て來た。

「おやッ」

柿の木の頂べんで、源のけたゝましい聲がした。

「何うした?」

甚が見上げて聲をかけた。その聲の終らない内に、源がずる／＼と辷り下りて來て、

「おいで駒の、づらかるんだ」

斯う喚んで置いて、先に立つて源が逃げ出した。

「おゝ源兄い何うしたんだ」

甚は源の言葉が解せないなりにも源に跟いて走つた。

二人の姿が見えなくなつた頃、お邸への陸尺が門をギイと開いた。

「お這入りなすつて――おや誰も居ねえが――先生何うかしなすつたな、馬鹿々々しい――。おゝ寒い」

舌打ちしながら門を締めやうとした時、どか／＼と門の中へ躍り込んだ夥しい人數があつた。

袖屏風で提灯を匿つて玄關へかゝつた。

「おんや――」

驚いた陸尺を、一人の男が捕繩で奇麗に縛し上げて、猿轡を嵌めた。

他の連中はぴつたり闇夜の庭に蹲つた。その男がつか／＼と玄關へ來て、

「今晩は」

聲をかけた。すると玄關脇の小窓が開いて主人の道齋が顔を出した。

「何方でござる?」

その男、成るべく覺られないやうに身體を隠して、柔かい聲で、

「越前屋でございますがお藥を頂戴に上りました」

「え?」

「越前屋でございます」

中の道齋の顔色がサッと變つた。

「醫者は宵寢でございます。明朝にして頂きませう」

さう言ひながら小窓から、道齋はぢろりと外を見渡した。

袖屏風で隠してゐる、提灯の灯がぱッと道齋の目に映じた。

何と、その提灯には御用の文字が印してあるではないか……

「氣の毒でございますが――さう願ひたい」

ぱちり小窓の戸が閉まつた。

「急に病氣がぶり返しましたから是非、お藥を……」

その男は熱心に言つてゐた。

「えい、面倒だ」

闇に伏てゐた男が叫んだ。

さゝさと奥へ這入つて來た道齋が與四郎の耳許に口を當てゝ何か囁いた。

その話に愕然したのか、與四郎の顔に、一瞬紅が流れた。

「今更逃げのびて貴殿に迷惑をかけるのも何とやら……腕の續く限り斬りまくつて、斬死仕」

憤然と與四郎は言ひきつた。

「だが衛門氏、お身が此處で斬死なされても、愚老の目には變りがない――同類と見做されて死罪でござるぞ」

「うん――」

與四郎は詰つた。

「それにお身は若い。それにその病は養生次第で癒る。それにお身には、外に未練がござらう」

「と仰せられると?」

「早苗どのには、お身の可愛い胤が宿つてゐるのでござらう」

その言葉に、與四郎も、早苗もはつとして顔を赧くした。

七月三十日 日曜
舊六月八日 丁酉 先勝 房宿

●一白の人 何等の障害なくして大發展を來ぐる大吉日 丙と亥と寅が吉
●二黒の人 身心動搖して物事埒明かざる不安日諸事凶 丙と子と癸が吉
●三碧の人 手紙書付等人の手に殘るものには注意の日 未と申と亥が吉
●四緑の人 一家は至極平穏なり徐に進めば望自ら成る 坤と申と亥が吉
●五黄の人 思慮分別さへ確かなれば過ちを招く事なし 丙と庚と艮が吉
●六白の人 勇氣を養ふて後日に備へ妄動せざれば安全 辛と癸と寅が吉
●七赤の人 九分九厘迄成就しても殘の一厘にて敗あり 甲と辛と寅が吉
●八白の人 力を量らず無理に進めば損失破財を生ぜん 丁と庚と癸が吉
●九紫の人 心和かに物事に焦らざれば追々と望を達す 甲と巳と庚が吉

新京日日新聞

定價 一部金三錢 一ヶ月金八十錢
郵稅 一ヶ月金十五錢
新京永樂町四丁目一番地
發行所 新京日日新聞社
電話三〇〇〇番・五二三三番
發行人 十河榮郎
編輯人 本松二啓
印刷人 谷

英國、印度政廳に外交交涉權を付與せず

英政府非公式松平大使に回答

印度獨立を危ぶむ

〔東京廿九日發國通〕日印通商條約廢棄に伴ふ前後の交涉に對し英國政府は印度政廳に外交々涉權を付與するや否やの點に關し外務省は松平駐英大使を通じ再三再四英國政府の明確なる回答を促して居た所英國政府は言を左右にして之が正式回答を避けてゐたが最近松平大使に對し英國政府は非公式に次の如き見解を示し印度政廳に對し外交々涉權を附與するは殆んど絕對不可能なる旨回答し來た即ち左の如き內容である

一、英國政府は英國憲法上に於る印度政廳の特殊的意義に基き同政廳をして絕對自由な對外交涉權を行使せしむるは不可能なり

一、特に實際問題としても印度の獨立機運は近來漸次濃厚となりつゝあり此の際若し便宜主義から一定問題に限つて對外々涉權を認むるが如きことあるに於ては印度の獨立の氣勢を益々助長せしむるに至るが如き情態にあり且英國の國內問題としても議會其の他で由々しき政治問題化し政府の責任を糺彈さるゝに至る懸念充分あるを以て、日本側の要求は容認し難し

一、日印通商の圓滿なる發展に對しては英國政府も衷心之を希望するものなるを以て、若し日本政府並に民間當業者に於て印度側と協議せられ或種の協定を達せらるゝに於ては英國政府に於て之を根本的に變改を加ふる如きことを爲さゞるべきを玆に表明するものなり

自主外交樹立

外務省機構擴大豫算

大藏省と特別折衝せん

〔東京廿九日發國通〕外務省では明年度豫算に脫退後の政治及び經濟的自主的外交樹立の爲積極方針に基いてエジプト、アビシニア、コロンビア、アフガニスタンに公使館を新設、國際文化局、滿蒙局の新設等今後の發展に必要なる新規事業を計畫し、省議を重ねてゐるが綱目の整理完了を見たので卅一日に主腦部會議を開き、大藏省の査定に外務省の豫算は特別なる政治的考慮を拂ふ樣內田外相より高橋藏相に政治的折衝をすることに決定した

世界經濟會議

無期休會の形式で終了す

〔ロンドン二十七日發國通〕世界の不景氣を打開すべく鳴物入りで開催した經濟會議は何等見るべき決定を爲さず無期休會と云ふ形式で廿七日午後會議を終了した

內地臺灣間航空輸送計畫

四日の旅が十時間で行ける

〔東京廿九日發國通〕遞信省では內地臺灣間の航空輸送の道を拓くことに『決定』既に昭和七年度豫算を以て臺北郊外に敷地を買收してあつたが、其の後種々の都合に依り航空輸送開始が延引されて居た處、內地臺灣兩者の間に之が促進要望の聲高きものあるにより昭和九年度豫算に內地臺灣間航空輸送補助費(十一ヶ年繼續總額八百十二萬圓)初年度割十四萬圓を計上(內九萬圓は遞信省負擔三萬圓は臺灣總督府負擔)愈々內地臺灣間の航空輸送開始の準備を進めることになり、右豫算決定次第臺北郊外に飛行場の設備をすると同時に福岡、臺北の中間たる沖繩縣那覇附近に中間着陸場の設備や更に沖繩地方は颱風の多い所だから風測機を航空路の各所に造る等設備を完備し、昭和十年四月一日より航空輸送を開始する豫定だが此の福岡、臺北間は一千六百粁の距離で之を十時間で飛ぶことになるもので、四日間を要した『旅が』十時間で行けることになり實現の曉は內地、臺灣交通上に一新期を劃するものである

滿洲鐵道警備隊の

充實と制度の改革

十月一日より實施

〔東京廿九日發國通〕吉會線開通、滿洲國鐵道の制度改正等に伴ひ關東軍の鐵道警備上の任務は著しく擴大且複雜となりつゝあるに鑑み、陸軍では十年度より着手すべき豫定にある全關東軍の根本的改革に先立ち此の十月を以て滿洲鐵道警備力の充實及び制度の改革を斷行して鐵道警備の萬全を圖ることに決定、目下銳意具体案の完成を急いでゐるが、其の內容は大体左の如くである

一、滿洲全鐵道の警備區域を三區に分割する

一、現在の獨立守備隊を充實の上三隊に分ち之を第一獨立守備隊、第二獨立守備隊第三獨立守備隊とし前記の三分された區域の各一區を分擔せしむ

一、各守備隊に司令部を置き司令官は(中將か少將)關東軍司令官直屬とする

一、實施時期は十月一日とす

川越參事官

廣東總領事に轉任

〔東京廿九日發國通〕駐滿大使館參事官川越茂氏は總領事となり廣東在勤を命ぜらるゝに內定した、谷、桑島、栗原諸氏等と共に一日閣議で決定の筈である

交通審議會で

九月早々初會議開催

〔東京廿九日發國通〕交通審議會は官制にはよらないが權威附けのため特に勅裁を仰ぐ事に決定、人選中であつたが左の如く決定した初會議は九月早々先づ日滿連絡の陸路航空路を決定し續いて齋藤首相、三土鐵相が會見して政黨內閣が建設した鐵道線は動もすれば黨勢伸張の目的から地方產業を無視したものがあらうかも再檢討をすることに決定、會長は齋藤首相、委員には大藏、內務、陸、海軍、遞信、拓務關係大臣水野錬太郎、井上匡四郞、新渡忠三郎、山本條太郎、松田忠治、幹事には關係各省事務次官が參加する筈である

齊々哈爾大黑河間

航空便を開始

滿洲國遞信事業は接收一週年を迎へていよいよ整備の域に達しつゝあるが交通部に於ては滿洲航空及軍用航空路を利用して航空郵便による速達方法を執つて居り二十九日より新たに齊々哈爾大黑河間軍用航空路を利用して同區間にも航空郵便を開始することゝなつた、なほ其の運航回數は每週土曜に一往復で時刻は齊々哈爾發前七、〇〇大黑河着一一、一五復航大黑河發後〇一〇齊々哈爾着同四、四〇である

日本訪問外國團体

汽車賃割引

日本鐵道省では觀光の爲渡來する外國人で其數二十人(學生は十人)以上一團となつて旅行する場合は左記割合で八月一日から運賃割引を實施する旨外交部に通知があつたが其內容は左の通りである

一、外國に駐在する大使、公使、領事又は外務省に於て發給したる觀光團であることの證明書を持つものであること

二、等級は二、三等とし往復又は廻遊乘車船に乘車するものに限ること

三、旅客運賃の割引は左の通り

(一)學生以外のもの
二十人以上 三割
五十人以上 三割五分

(二)學生
十人以上 二割
二十人以上 四割
五十人以上 四割三分

なほ學生を引率する教員も學生と同一の取扱を爲すものとす

四面楚歌の馮玉祥

外蒙からソ聯へ遁走せんとす

〔奉天廿九日發國通〕馮玉祥軍は多倫赤城に第一線を構へ熱河省內を窺つて居るが李守信軍約一萬、劉桂堂軍約一萬は馮軍を驅逐すべく省境に集結中である

一方支那側は于學忠、萬福麟、宋哲元、商震等は南京の命に從ひ馮討伐に參加し居り既に三ヶ師を基準とする中央軍は張家口に向け進擊中である

閻錫山も洞ヶ峠を降り約二萬の兵を率ひて大同を出で馮軍の退路を斷たんとして居る

馮軍の自滅目前に迫つて居るが馮は此環境に赤化工作によつてソヴエートの歡心をもとめつゝあり此一戰に敗れた時は山西への退路も無き故外蒙古を經てソヴエートに敗走するものと觀られて居る

國民政府の對英借款說

團匪賠償金流用の諒解のみ

當局英の態度重視

〔東京廿九日發國通〕宋子文が滯在中、英國政府との間に五百萬封度の借款契約を締結したとの『報道』に關し、我政府當局は眞僞を調査中の處二十八日其の筋に達した報道によれば英國政府が五百萬磅の現金を積極的に國民政府に貸與するとは躊躇せるものの英國は團匪賠償金として支那に保有する債權一千萬磅中五百萬磅を鐵道建設費にすることを條件とする消極的利益獲得に關して宋子文が英國外務省の諒解を得たこと丈は略々事實と見られるに至つた、英國政府が純然たる文化的施設として英支管理委員會の豫定せざりし鐵道建設に團匪賠償金を流用することに關し我外務當局は無關心を裝ひつゝあるも英國の對支鐵道政策に政治的意味が『多分』に包藏されてゐることに對し多大の關心を有し成行を重大視しつゝある

戰區引繼ぎ

順調に進捗す

〔東京二十九日發國通〕其の筋への來電に依れば北平政務委員會黃郛は目下戰區接收を忠實に實行し東部方面即ち唐山、山海關地方各縣は極めて順調に進捗せる模樣だと陶尙銘は目下密雲懷柔等を圓滿接收することになつたが、秦皇島の石友三軍若干のみが改編を喜ばず不平の氣勢を示してゐるので之は近く關東軍の手に依つて武裝解除される筈である接收の急速なる進捗の理由としては宋子文が八月下旬乃至九月上旬に歸國し親米派の牛耳を執り黃郛等現實派の行動を非難し惡いては其の身邊にも危害の及ぶ虞れのあるに鑑み八月中旬頃南京に歸還まで無事完了したいとの努力によるものと觀られてゐる

四種統稅は

國稅收入の中樞

絕對に廢止することなし

最近滿洲國政府に於て四種統稅を撤廢するとの浮說傳へられ、滿洲に於ける輸入貿易業者は勿論日本內地に於ても虛報を信じ、財政部宛問合せ來るもの多數に上つて居るが、統稅は國稅二年度稅收豫算三千八百萬圓に對し一千萬圓、二十九%を占め、滿洲國財政上樞要なるもので、その課稅物件が奢侈品、必要品なる關係上伸縮性に富む有力なる財源であるので絕對に廢止することなく、寧ろ之を中樞に租稅制度を樹立せんとの意向である、現行統稅率左の如し

A、捲煙統稅(卷煙草)
A、紙煙 五萬本入一箱を單位とし卸賣價格五四〇元以上一等三〇五元、同一五〇元以上二等八一元、一五〇元未滿三等三九元
B、葉卷 一千本を單位とし六等級に分つ

棉紗統稅(綿糸布)
A 生綿糸 二十三番手以下百斤に付 二、七五〇即ち一捆八、二五〇
B 同 二十三番手以上のもの百斤に付 三、七五〇即ち一捆 一一、二五〇
C 其他の綿糸及綿布、綿製品 從價百分ノ五

麥粉統稅
四〇斤一袋に付 ・一〇〇

水泥統稅(セメント)
A 水泥 一封度に付 ・〇〇一六
即 大樽(三七五封度入) 一個に付 六〇〇
小樽(一八七、五封度入) 同 三〇〇
紙袋(五〇瓩入) 同 一八〇
B 水泥製品(土管、瓦の如きもの) 從價百分ノ五

通遼の種羊養牧場敷地

滿鐵へ無料貸下

滿鐵農務課で計劃中の種羊養牧場敷地として滿洲國實業部に貸下げ申請中の通遼街張學良所有地十萬町步は無料貸下げることに決定した

產金買上價格

產金買上法に基く產金買上價格は左記の通り決定、二十九日財政部より發表された
產金買上價格一公分(瓦)に付き二圓三角一分(國幣)

傷病兵來京

二十九日午後三時二十五分着列車で哈爾賓から傷病兵二十七名來京、內十二名は新京衛戍病院に收容され十五名は公主嶺衛戍分院に收容されるので午後四時半發列車で南行

飛行隊除隊兵

內地凱旋

二十九日午後三時二十五分着列車でハルビンから飛行第十一〇隊の除隊兵下士以下四十五名來着、同四時半發列車で內地へ凱旋

人事往來

▲野田總長(旅順工大)二十八日午後七時五十分來京
▲維振玉氏(監察院長)同上
▲齋藤中將(豫備役)同上
▲于芷山上將(奉天警備司令官)同上
▲王事政部次長 同上
▲佐藤顧問(奉天省警務廳)同上
▲張熱河省警備司令 二十九日午前八時來京
▲坂本中將(第〇〇師團長)同
▲井上中將(守備隊司令官)同
▲岩井少將(豫備役)同上
▲堀少將(航空本部總務部長)二十九日午前九時大連へ

團体

▲慶應野球部團十九名二十九日午後七時五十分來京
▲神港商業生三十五名二十九日午前六時四十分來京吉林往復
▲東京本鄕教育會二十九日午前八時來京
▲慶應義塾生十二名二十九日午前六時四十分來京
▲台北第一中學生六十五名二十九日吉林往復
▲廣島師範生二十二名二十九日午後三時二十五分來京
▲西廣場小學生二十七名二十九日午前六時四十分歸京
▲哈市小學生十一名二十九日午前六時四十分來京同八時四十分ハルビンへ
▲大倉商業生十名二十九日午前八時四十分ハルビンへ
▲學習院生七名二十九日午後三時二十五分來京

天氣と氣溫

けふの天氣北西の風晴一時曇り、二十九日の氣溫最高二十二度五最低十二度

ボツルは沸る タオル ×××

改正關稅は果して滿足なりや

當業者の意見を聽く(四)

最近の本邦品滿洲進出中タオルも其目覺ましく販路開拓した一つである、以前同品は『殆ど』芝罘、上海、天津を通じて支那より輸入されたもので滿洲事變を契機として本邦品の長足的進出を見たものであるしかるに張學良時代之が發達品と見た爲か一擔につき國幣三十五圓十錢の輸入稅を課した、タオル一擔を約百圓と計算すれば從價の三割五分一厘、これに運賃其他を合すれば現地原價の四割三分高となる、元來タオルは價格頗る低廉にして且つ現在に於ては手拭の代用品として生活の必需品であり、加ふるに滿洲人一般を『觀察』する時滿洲人は手拭よりも好んでタオルを使用する傾向大にして、その大部分はタオルを通常用ひてゐる、從て今次の關稅改正による約三割低下は尙且つ余りにも高稅で、世上一般不服の聲を放つて居る向が多い、即ち改正の結果一擔につき二十四圓四十錢、これによると高級品で從價の二割五分下層階級の使用する低級品に至つては實に三割の高率となり、斯る『生活』の必需品としては余りにも重稅のそしりは免れまい

右につき某タオル商は語る

昨今のタオルの賣れ行きは非常によく、殊に夏期を迎へしかる際素晴らしいものがあります、しかし從來の稅は余りにも高く立派な輸入障壁となつてタオルの輸入を阻過したのですが、尙斯る勢で進出增加を見せてゐるのですから改正により益々同品の前途は廣大で期して待つものがあると確く信じて居ります、しかし今回の改正は甚だしく微溫的のもの、吾々當業者を非常に落膽せしめた、吾々は輸入稅率は從價の一割五分か最も至當と考へ、財政部へ屢々懇願して來ましたが兎に角我民日常の低級必需品に王道政治を標榜する滿洲國で從價の三割もの輸入稅を徵收するのは不合理です

明治大帝の御命日 故元帥の遺骸凱旋

けふは日滿兩國の大恩人、われ等が慈父と仰ぐ故武藤元帥が赫々たる武勳を輝かせながらも、今は悲しく凱旋する日だ想ひ合すれば明治四十五年明治大帝崩御せられし御命日……在滿一年帝國各代表機關の主腦としてのためにも盡されたその功績は吾々として忘れんとして忘れることの出來ないものであらう、脅も遺骸はいよ〳〵今三十日、故元帥に取つては最も思出深き關東軍司令部に最後の別れを告げ午前七時三十分止門を出發する、小磯參謀長、橋本警備司令官その他幕僚、秘書官らに護られて肅々として驛に向ふが

まづ憲兵の先驅車の次に靈柩自動車が進み、憲兵のサイドカーの直後には位牌を捧持した萬城目副官、勳章並に元帥刀捧持の辰巳少佐、志村大尉、篠原、鶴田秘書官、小磯參謀長、名越副官、橋本警備司令官の各自動車がつゞき、齋藤大佐、高山警察署長、新京警備隊の儀仗兵がつゞく豫定である

兩國軍隊初め諸員奉送裡に 一般奉送者の心得

かくて軍司令部正門を出で軍職員を始め沿道諸員の奉送裡に平安町を經て中央通に出で驛に向つて右側には滿洲側學生諸團体滿洲國軍隊左側には日本側學生團体、日本軍隊が奉送する中を眞直ぐに新京驛に向ひ同七時五十分頃遺骸は一先づ靈柩車内に安置され、やがて午前八時二十分新京驛を出發するはずである、奉送に關しては日本側並に滿洲國側の高等官、薦任官以上およびこれに準ずるもの、各種團体代表者は午前七時五十分以降驛構内に入場して奉送し、その他に沿道において奉送することになつてゐるが一般奉送者は驛前廣場驛向つて右側に位置し、前七時二十分までに整列することになつてゐる

不謹愼の三鮮人 泥醉して檢束さる

武藤軍司令官の薨去に付全市民は哀惜の意を表し歌舞音曲をも止めひたすら謹愼してゐるにも拘らず二十八日夜泥醉の果暴行を働く非國民的な三鮮人が新京署へ檢束された

內富士町朝日タクシー書記文武卿(二六)同運轉手江德景(四三)同朴勝春(三〇)の三名は二十八日午後七時頃ホロ醉氣嫌で三笠町飲食店金剛亭に至り九時三十分頃迄飲酒をなし料金不拂の事より口論をはじめ果は叩く毆るの暴行を働き內一名は同家雇婦女劉江沫の右腕首に治療約一週間を要する嚙傷を負はせた、一方通報に接した日本橋通派出所員は現場に急ぎ右三名を取押へ時節柄謹愼すべき旨を說諭したが聞き入れぬ爲遂に檢束したもので二十九日朝井上保安主任より大目玉を頂戴して引下つた

大和藥房店員 九十圓を騙取さる 剩錢詐取に御注意

二十七日午後七時頃吉野町二丁目の大和藥房へ電話でいろ〳〵の藥品約十圓ほどをあつらへたものがあり錦町八番地の山本だが氣の毒だけれど百圓札を渡すから剩錢をもつて來てくれとのことに同店では早速、注文の品々と九十圓を店員に自轉車で届けさしたところ中央通りを舊署長官舍今の司法係の門前あたりまで來ると馬車に乗つてくる日本人に呼びとめられ君は大和藥房の使か俺は今電話をかけた山本だ、病院に急ぐから剩錢をここで渡して行け品物は宅に届け妻に百圓札を預けてあるからと云はれ何の氣なしに九十圓を渡し八番地はその橫町を這入つた左側だと敎へられたまゝ行つて探したがその邊は警察の宿舍ばかりで山本と云ふ家は無いので始めて一杯喰つたことに氣がつきあわてゝ其筋へ訴出た

弔旗と奉送を ―ぜひ忘れぬやうに

けふ滯りなく告別式を終つた故武藤元帥の遺骸はいよ〳〵明三十日午前七時三十分軍司令部發、午前七時五十分靈柩車内に奉遷午前八時二十分新京驛を出發致します、皆さん各戸には必ず弔旗を揭げ當日は一家殘らず奉送申上げませう

告別式に於ける 各方面の弔辭

溥執政弔辭

惟大同二年七月二十九日大滿洲國執政大日本駐滿特命全權大使關東軍司令官關東長官元帥陸軍大將男爵武藤信義閣下の喪を聞き親臨醊を奠め並に之を誄して曰く

惟れ閣下英姿茂德獨出時は冠たり其謀國の忠詩物の誠遠近親疏となく翕然悅ひ服す、特命を奉して來蒞せしより將に一年に及はんとす、事に遇ふて至公明診戒を分たす中間北滿を肅清し熱河を戡定に我か國防を固ふす厥の功甚た偉なり建設を贊助し蓋謀尤も多し毎に造膝深談に當り誠懇篤摯一と訴合閒なく視ること心膂肱に同し方に貴我兩國の爲めに彌々人を得たるを慶す、何そ圖らん靈天弔せす中道にして殞離す生平を追念して彌々悼を增す、此れ僅に我滿國頓に良助を失ふのみならす並に貴日本國の爲めに此の貞臣を惜む、我か滿洲國一切の建設方に萌芽に在り、閣下の宏願遠獻施すところ未た竟らす九京志を賚らす定めて亦愴悵惟、冀くは英靈、上列星と共に環繞し實陰之を相よ此の一觴を奠む尙くは其れ來り饗けよ

松木中將弔辭

謹んで故關東軍司令官元帥陸軍大將十二位勳一等功二級男爵武藤信義閣下の英靈に告く元帥客年八月時局重大なるに方り大命を奉しコゝ外に重任を負ひて渡滿せらるるや一世の德風を以て直ちに隷下將兵崇敬の中心となり爾來運籌帷謀毎に宜しきを制し忽ち群匪を剿蕩して紛亂の裡より治安を恢復し北に呼倫貝爾を平定して窮迫せる同胞を累卵の危きに救ひ南に熱河河北の聖戰を敢行して茲に滿洲國の國礎を窒固にし以て克く皇道を東亞に恢弘し皇軍の威武を中外に宣揚せり宜なる哉畏くも天皇陛下は渥なる勅語を賜ひて元帥の勳績を嘉せらる而も世界の動向と東亞の情勢とは元師の經綸に待つもの愈々大なるの秋元帥俄に病を得て遠大なる抱負を懷きつつ溘焉として逝く、豈啻に帝國の損失のみならんや嗚呼惜い哉

顧ふに元帥已を律すること頗る謹嚴にして而も人を遇すること最も寬容なり就中部下に接するには嚴肅の裡に無限の溫情を藏せり其着任以來將に一歲此間三位一体の長として公殆ど寧日なく已を空うして公事に勤勞せられ疲勞苦痛あるも片言隻語すら之を口にせず然るに薨去前僅に一週日親しく軍隊を閲して將兵の勞苦を犒ひ病院に傷病の兵を見舞ひ訓諭して曰く「士の忠勇崇高なる血は皇國の勢運を益々隆盛ならしめつつあり諸士安んして加療に努めよ傷痍は精神力に依りて治癒し得るものぞ」と莊重なる元帥の眼角に慈愛の熱涙溢るるものあり聽く者涙なきはなし噫々元帥は蓋し精神力を以て自己極度の疲勞を抑制しありしなり

元帥は既に帝國陸軍の重鎭を以て居り其高風德望は夙に一世に高く隷下將兵爲に其德風を慕ひて自ら感化せらる而して今其薨去に遇ふ將兵一同斷腸の思を以て愁嘆する亦故なきにあらざるなり

然りと雖も骨を戰場に埋むるは元より武人の本懷たり元師亦夙に其事あるへきを豫期せられたる而して今陣中に歿せらるるは寧ろ元師の本懷とせらるる所なるへく吾人元師の高風德化に浴せるもの亦豈徒に愁嘆日を曠うすへきにあらす即ち師の遺德に依據し協心劉力天賦の使命に向ひて邁進し以て元師遺志の完成を期せんとす吾人は今や永へに大將の溫容に接し得ざるの憾最も深しと雖大將は今日の昇天に依り大將の部中にして又我等の戰友たりし在天幾千の英靈に依りて迎へらるへし閣下庶幾くは瞑せられよ

茲に恭しく哀悼の至誠捧げ閣下の統率せられたる將兵一同を代表し謹んで告別式の辭を呈し以て閣下冥福を祈り奉る

昭和八年七月二十九日 從三位勳二等功五級 陸軍中將 松木直亮

滿洲國政府

維大同二年七月二十九日滿洲國政府謹んで淸酌の奠を以て祭を大日本大使武藤大將の靈に致して曰く滿洲の建國命ありて天よりす孰か其命を致すあり天よりす煌々たる德隣武公を挺生す勇と仁有り節を持して西來し我萬民を安んす率認疑を懷き群言糾紛すれは之に示すに禮を以てし乾し坤を轉す疑して而して險に走り寇盜山に滿れは之を正すに義を以てし迹を斂めて崩奔す洪水災を爲し千里顚連すれは之を懷くるに恩を以てし饑の餐を得るか如し臥の側肘腋の患は之を攘ふに威を以てし壽桀惧先す公の來りてより倏忽卅閱[illegible]し官吏還を思ふ奈何そ忽せして我英賢み奪ふ名は天壤と昭かに懷感は九泉より深し其れ靈あらは此の悁々を鑒せよ嗚呼哀い哉尙くは饗けよ

滿洲國國務總理 鄭孝胥

拜する集つどひ

三十日日曜日朝四時〇分より西公園誠忠碑前にて(新京日出時刻四時卅二分)

武勳輝く故元帥の英靈永へに送る日

きのふ軍司令部内で告別式 執政も親しく御拜 盛儀を極む

赫々たる武勳に輝きその偉大なる一生を卒然として閉ぢて終つた、われ等が故武藤元帥を永へに送るの日、淨めの雨もからりと霽れて土用半とはいへ吹く風さへも身に覺ねて大偉人の最期を悲み訴ふるものゝごとくである

この日故元帥には思出深き大使官邸を出發した靈柩は沿道諸員奉送裡に軍司令部正門を入つて午後三時半、幕僚達によつて軍司令部中庭に特に設けられた祭壇に恭しく安置された、見れば

『祭壇』正面には「高節院純忠信義」の戒名も今はかなしくその側には畏くも天皇皇后兩陛下よりの御下賜品をはじめ關東軍司令部、その他各主要機關、同代表者らから贈られた供花、花環は處狹きまでに飾られてゐる、來賓席には林、八田兩滿鐵正副總裁、小林海軍部司令官、日下内務、林警務兩局長、栗原總領事、滿洲國側からは鄭總理を始め各部總長その他、また陸軍側では松木中將を始め各將星はいづれも襟を正し

『靈柩』向つて左側は委員席、中央に在新京關東軍將校以下職員、日本軍隊をはさんで右側に大使館及關東廳職員、諸學校生徒、左側に滿洲國軍隊、民間諸團体その後方には一般參會者たち何れも肅然として居並び、やがて午後四時まで一同整列を終ると、この日の導師本派本願寺賀事長小笠原彰眞師以下衆僧着席、こゝで記念撮影がありいよ〳〵告別式に入つた香の匂ひあたりをこめ各宗僧侶の念佛の聲も聞ゆれば

『參會』者一同涙また新たに…陛下並に各宮家よりの御弔電を委員長小磯中將恭しく奉讀し、終つて關東軍代表松木中將を始め大使館代表、東廳代表の弔詞あり、この時溥執政には侍從武官長張海鵬上將始め多數を引具し參謀林出雲記官の先導にて諸員起立裡に入場、一旦着席の上靈前に進み府中令氏執りて弔詞を代讀、終拜をつゞけさせられたやがて執政の御退場あつて、關東軍代表、海軍部司令官、滿鐵總裁の順序で弔詞を朗讀、右以外の弔詞は委員において受付け一括して捧呈された、ついで西園寺公、東鄕元帥、齋藤首相以下各大臣其他各方面から寄せた弔電を齋藤大佐朗讀、小笠原師の導師で動行に入つたが

『執政』(大野中將、荒川宮佐一氏)代理、委員長、親近者、軍代表(松木中將)大使館代表、關東廳代表、滿洲國軍部代表、滿洲國代表、滿洲國軍代表、諸校代表、民間諸團體代表それ〴〵燒香を終り、小磯委員長の挨拶あり、來賓その他一般燒香あつてこの間約一時間余にして式は稀に見る盛儀の裡に同五時すぎ終了したかくて靈柩は軍司令官宅に移された

告別式實況を全滿日本に中繼放送

昨日午後四時より關東軍司令部中庭において舉行された武藤元帥の告別式の實況を全滿及び日本全國に中繼放送する爲め關東軍特殊通信部では式場内委員席前にマイクロフオンを備付け關東軍囑託友安義高氏が午後三時より同五時迄放送した

劉房子驛で 人質拉致さる

二十九日午前一時ごろ劉房子驛前陸占復方へ所屬不明の七名の匪賊が押入り陸占復を人質として拉致した

郭家店十家堡間に 匪賊現る

二十八日午後八時ごろ郭家店十家堡間舊南山保線丁場附近において五、六十名の匪賊より保線區員が射擊を受けたので應戰、これを擊退し直に郭家店、十家堡各驛に急報した爲裝甲列車、モーターカーに便乘郭家店驛守備兵、警官〇〇名出動附近一帶に亘り、匪賊の

富美丸事件賠償金 六萬四千四百圓 金フランを以て東京で支拂ふ

〔東京二十八日發國通〕太田駐露大使は富美丸漁夫殺害事件賠償金支拂方法に就き二十六日ソ聯人民委員長ソコルニコフ氏と會見協議した結果、ソ聯側は日本外務省の指定する受取人に對し東京でソ國領事より金フランを以て賠償金全額六萬四千四百圓支拂ふことゝなつた

城內油房職工ストライキ

去る廿四日城內油房裕生源外油房八ヶ所並に鐵道北に在る油房四ヶ所の從業員三十餘名は賃金問題から傭主との間に紛糾を起し一齊にストライキに入つたので首都警察廳では連日傭主、職工を召喚取調を行つてゐるが外部に煽動者ありや否やはまだ不明である

福井市の豪雨

〔福井發〕當地方豪雨のため福井市の床上浸水千一百戶、床下浸水二千五百戶に及び坂井郡丸岡町葦原溫泉では數百戶の浸水家屋があつた

奉天文官屯間で 貨車の封印きらる 犯人は列車進行中逃走か

二十九日午前一時頃第九十七貨物列車奉天、文官屯間で何者にか貨車の封印を切られ、荷物を盜まれてゐるのを發見、直に警察に急報すると共に盜まれた品の詳細なる調査に着手したが、犯人は進行中飛び乘つたものと見られてゐる搜査に努めたが、折柄の暗夜に乘じ、何れにか逃走したものゝ如く遂に發見するに至らなかつた

無錢飲食

渡明の新京にありそうな無錢飲食一つ……市內日出町二丁目無職佐々川賢次(三三)は二十八日午前一時三十分頃より三笠町三丁目おでん屋橫綱に至り同三時三十分頃迄約一圓十七錢の飲酒をなしいざ勘定となつて「小さい金が無いから釣錢を出せ」とか「俺は遊動警察の者だから明日支拂ふ」とか酒氣にまかせて出鱈目を並べるのみで以前の四圓三錢の借りもありながら一向に支拂ふ樣子がないので富士町派出所に屆出無錢飲食者として本署へ連行された

逃走の酌婦捕はる

城內五馬路料亭三福樓抱酌婦靜子事滿井スサヱ(二七)は去る六月十六日前借二百圓を踏倒して逃走、沓として行方不明であつたが領事館警察署の手により廿五日營口新市街靑柳街飲食店繁昌屋に雇婦女として働かんとする所を發見取押へられた

農業經營講習會出席者に運賃割引

八月六日より十日まで大連市にて開催される滿洲農事協會主催農業經營講習會出席者に對し、滿鐵では二、三等旅客に限り運賃を五割引きすることゝなつた、割引區間は社線及金福線各驛より大連驛往復、通用期間は乘車券發賣の日より十一日迄である

慶應對滿洲國野球戰 卅日西公園で

本日行はれる筈であつた慶應對滿洲國チームの野球戰は日程を變更三十日午後三時西公園に於て舉行されることになつた因に慶應側は腰本監督牧野主將以下二十餘名である

滿俱勝つ 對慶應戰 8A―2

〔大連廿八日發國通〕滿俱對慶應野球戰は二十八日午後四時四十五分慶應先攻で開始結局八A對二で滿俱勝つ、閉戰七時

△バツテリー 慶應―春日井、三宅、櫻井 滿俱―小松、島、片岡

△スコアー

慶	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
俱	3	0	0	0	0	0	3	2	A	8A

陳國道局副局長

國道局副局長陳承修氏は昨二十八日午前四時十五分腦溢血で大馬路滿洲旅舍に於て逝去した、三十日午後二時より午後五時迄南關の關帝廟に於て告別式を舉行する

元日本メソジスト監督 平岩愃保氏逝く

〔電通東京廿七日發〕東京市杉並區阿佐ヶ谷五ノ三四元日本メソジスト監督平岩愃保氏は幽門狹窄症に罹り療養中の處遂に二十六日午後九時逝去した享年七十八 告別式は三十日靑山學院で執行の筈

趣味と家庭

子供を叱るにもよく考へて
賞めるのも同じ事です まづ方針が必要

子供を賞めようと思ふ時には、明かに子供が努力した形迹のある場合に限るべきである、努力した形迹の無いのにそれを無暗に賞めるのは褒めた甲斐がない、又悪いことを叱る場合には、間違へて悪いことをしたとか、或は騎虎の勢ひで悪いことをした場合は賞めるべきでない、意地悪く悪意を以てした『場合』のみ叱るが宜い、それから叱ることに就て心得て置かねばならぬ事柄は、叱つたらそれだけの效りあるやうにと云ふことを考へて效りのないことは初めから言はない方が宜しい

尚賞めることや叱るには各々程度があつて其程度を考へなければならぬ、賞め過ぎもいかず、叱り過ぎもいけない、尚注意すべきことは、常に一定の方針があつてしなければならない、昨日賞めて置いて『今日』叱るやうなことではいけない、ご飯をこぼしてはいけないと云ふならば始終言はなければならぬ、或時には面白がつて笑つて濟ませ、或時には本氣になつて叱り付けたりするのは、親の我儘から來たものであるから、さう云ふ褒貶は特に注意せねばならぬ

親が賞めて兄弟がけなしたり、祖父母が賞めて父母が叱つたりすることが折々ある、さう云ふのは全然目上の『威厳』を落してしまふ、それでは子供が一番えらくなつて皆の言ふことを自分が判断してやると云ふことになつて了つて、地位が全く轉倒してしまふ譯である、それから喧嘩のやうな叱り方をする親がある、さう云ふ場合は親自らが全く落着を失つて居るので叱つて却て害になる、それでは子供の心に深く入つて子供に呑込ませることが出來ないのである、此等は『餘程』注意しなければならない、殊に若い親ほど此の缺點を有つて居ることは子供の教育上心すべきである

赤ちゃんを丈夫に育てる
その秘訣を御存じ？

健康な國民を求めやうとすれば勢ひ赤ちゃんの時代からその基礎を固めて行く事が何より大切です、よく醫師が乳を與へる時間を八ケ間敷く言ふのも、皆な斯うした最初の健康な國民の基礎を固めるための『苦言』なのです、赤ちゃん時代は、お乳以外に、健康との關係はないのですから、何よりもこれが大切です、卽ち母乳が乳兒の体内に入つて、吸收されるまでの時間は、約二時間かかるのです、牛乳の場合ですと三時間を要します、故に赤ちゃんが泣くからとてその泣く事が何んの原因から來たものかも考へずに、（泣く兒にお乳）とばかりに、無暗矢鱈に乳房をふくませてゐる若いお母さん方を見受けますが、あの位赤ちゃんの健康をそこなふものはありません、前のお乳が未だ『胃袋』やお腹の中でだぶ／＼してゐるのに、次から次へと飲ませるために、遂に消化不良を惹起して終ふのです、そこで今日の科學は次のやうに授乳時間と成長關係とを、割出して世のお母さん方におすすめ致して居ます

（イ）、生れた直後二三日間、泣いたら吸はせます

（ロ）、生後二週間位迄、二時間乃至三時間置位に

（ハ）、二週間乃至一ケ月、三時間置位、一日七回平均

（ニ）、二三ケ月頃、三時間置で一日六回、或は四時間置にして一日五回位を適當とします

（ホ）、四ケ月前後、四時間置で一日五回位

何故月が經つに從つて回數が減るかと申しますに『嬰兒』の飲方がだん／＼多くなりますから、それを時間構

「お乳が張つて來るまで飲ませない」と云ふ方がありますが、これなぞは經驗からこの授乳の間隔を辨へて居らるるものと言へるでせう

△小兒の呼吸　初生兒や哺乳兒の呼吸は主として腹式呼吸で屢々不規則であり一分間の呼吸數は初生兒では一般に淺くて數が多い四九—三五、滿一年まで三五—二五、三年乃至五年になれば二五—二〇位である

便所の悪臭や蛆の發生を防ぐには

梧桐の葉や無花果の葉を刻んで入れても、また蜜柑の皮を干してそれを刻んで入れてもよいのでありますが、更に有効なのは藥または籾糠の燻炭を入れることであります、毎朝一掴みづつ入れておくと臭氣もなく蛆もわきません、また肥料としても理想的のものになります

臭を防ぐ方法は一面蛆を防ぐ方法ともなります、蛆は石油を數滴流しておくと有効でありますが、併し根本的には大正便所のやうな密閉式便所で酸素の供給を杜絶する式のものに改造することが必要であります、かういふ風にすると蛆ばかりでなく、十二指腸蟲その他の寄生蟲傳染病の病原菌を撲滅し衞生上申分のないことになります

海の外から

口飛行機にラヂオ備へ付け　英國航空省では民間飛行にラヂオセットの備へ付けを許可したので、飛行の際モーターの爆音に無關係の聽取器取付が激増した

口消毒用噴霧器　農作物、樹皮、花卉、鷄舎、司厨場等に棲息する害虫を驅除する爲め米國では、僅に一時間位使用出來る手提噴霧器を盛んに使用してゐる

口自動車乘りの福音　米國自動車協會調査では、疾走中に乘用者の身體が激動するのは衞生的で無いとあつて反動を調節する爲め反動比率

を講究中だと

口アマゾンの水百合　「アマゾン河の水百合」として有名なるヴヰクトリア、レジア種は直徑三呎の大型な熱帶植物で珍奇なものであるが米國オハイオ州の養樹場では此の苗木を三百ワットの電熱で育成さすことに成功した

口齒根の有無を知る法　濠州メルボルン大學醫科學部教授W、A、オスボーヌ博士は齒科醫學の權威者であるが、一度齒が抜け落ちると再び生えるや否やの實驗に成功した此の方法は多年の經驗に基く手觸法の要訣にのみあるとは科學否定の一考察とも云へやう

口字を書くロボット　ロボットの應用は種々の方面に亘つてゐるがフランスでは文字を書くロボットが通行人を喜ばせてゐる

ラヂオ欄

三十日（日）

新京 奉天前 一一、五〇 講演　一二、二〇 講演　河北作戰に參加して　陸軍歩兵中尉高松悦雄　鑑部部隊

新京後 四、〇〇 レコード

奉天後 四、三〇 演藝

新京後 五、〇〇 時事解説

同 後 五、三〇 ニュース

東京後 六、〇〇 ニュース（滿洲語）

新京後 六、二〇 演藝又は講演（東京中央放送局編輯）

同 後 七、〇〇 レコード

同 後 七、二〇 ニュース

同 後 七、三〇 ニュース（朝鮮語）

同 後 八、〇〇 演藝（氣象豫報、プログラム豫告、放送局編輯及）

東京後 八、三〇 時報

同 後 八、三一 ニュース（東京中央放送局編輯）

新京後 八、四五 時事解説　新京附近に於ける朝鮮人教育狀況及將來　新京普通學校鄭恒篆

鮮魚小賣相場

品名	値	品名	値
活鯛	一〇五	テヌ鯛	三八
小鯛	五二	ニベ	七〇
ヒラス	三六	サハラ	三五
スヽキ	一七	サバ	一六
アジ	一六	カレイ	一六
ヒラメ	一八	コノシロ	一二
マナカツヲ	四〇	タチウオ	一〇
サバ	三六	メバル	一三
アコウ	二六	グチ	九
カナガシラ	八	フカ	二〇
イセエビ	七九	車エビ	二〇
ハモ	一八	アナゴ	二六
アワビ	六〇	ハマグリ	一〇
舌	二五目	高カレ	一三
ヤズ	二〇	ウナギ	一二〇

連載漫画　二人上戸

ヤツトノコトデ　セキシヨモブジニトホツテ　ダウチウヲイソイデクルト　コノナガレ　ヘシモフネモナイ　コマツタナア

ゲラ助『ウン、ジヤンケンシテカッタラ　オンブシテワタロウヤ

二人『ウン、イイカンガヘダナ

ヂヤンケンポイ……

カン助『ソラヤンニカッタ

ベソ助『ゲラチヤンニマケタア

カン助『ホラ、ゲラニマケタ

カン助『ゲラ　ナゼオレニカッタ

ベソ助『ゲラ　ナゼワシニマケタ

カン助『ウウウ

日英米佛專賣特許

傳染病惡疫豫防に

吸著療法

アドース錠

腸の衛生掃除 アドース錠の偉力發揮

アドース錠は吸著効果優秀な植物性炭素に更に特殊の化學的操作を加へて之に活性を附加して一層吸著効果を增强した近代的吸著療法劑であります從つて唯單に有害產物や黴菌などを吸著するばかりでなく腸壁に出來た潰瘍面や爛れ粘膜の損傷部までも被ひ補ふて便通を整へ身体には疲勞倦怠の副作用なく極めて少量で奏効する特徵を以て居るのであります

アドース錠がどんな學理的根據に基き吸著奏効するかは醫界の權威京都帝國大學醫學部甲田醫學博士に依て有機色素　毒素　大腸桿菌有毒瓦斯の生物學的實驗を行はれ（實驗醫報第一六四號）學界に發表され又小山博士はヂフテリー菌破傷風菌毒素の吸著實驗を行ひ共に其効果を賞揚されて居ります尙又多數の臨床大家に依て赤痢　疫痢　急性慢性腸カタル　鼓腸　食餌中毒に就て續々實驗報告を寄せられて居ります以上の成績に依り**アドース錠**が夏の家庭常備藥として遺憾なく効力を發揮し惡疫を未然に豫防し得るかを首肯せらるゝのであります

驚嘆すべき効果 この實驗例を見よ

元大阪桃山病院副院長 醫學博士 山本利平氏 報告

アドースノ浣腸ノミヲ行ヘルモノ赤痢二十五例內服ノミヲ行ヘルモノ赤痢二十三例疫痢十三例腸チフス十例ニシテ何レモ良好ナル成績ヲ得タリ

赤痢

黒○明○ 十五歳

發病二日目入院ス便一日二十三回純粘血便体溫三十八度二脈搏九十三入院時一回下劑ヲ投與シ單ニ**アドース錠**三錠宛一日三回內服セシム翌日便暗色ヲ呈ス裏急後重著シク輕減シ便ノ回數半減ス內服四日便中血液ヲ混ゼズ粘液モ亦甚シク減少內服一週ニテ粘液ヲ全ク見ズ局所ノ壓通並ニ便結去ル經過二十三日全治退院ス

疫痢

山○文○ 六歳

發病當日入院体溫三十九度七分脈搏百四十九至時々痙攣ヲ發ス强心劑ノ皮下注射ヲ行ヒ下劑ヲ投與ス**アドース錠**三錠宛ヲ番茶ニ混和シ一日三回內服セシム翌々日一般症狀著シク輕快体溫降リ數日ニシテ便中全ク粘液ヲ見ズ經過十四日ニシテ全治退院ス

腸チフス

瀧○三○ 二十六歳

發病五日目入院体溫三十九度三脈搏八十五至腹部著シク膨滿下痢一日三回黃色泥狀便アリ**アドース錠**三個宛一日三回持續內服セシム翌々日ヨリ腹部ノ緊張膨滿去リ下痢モ亦止ム

（醫學博士 小坂禮二氏 報告）

消化不良性下痢二十三例腸加答兒十八例急性大腸炎三十例小兒食餌障碍腸結核各一例疫痢二例鼓腸三例

消化不良性下痢

大○吾○ 四十四歳

約二ヶ月前些少不消化物ヲ食シ爾來下痢シ易ク時々腹痛ト共ニ腹鳴アリ最近下痢數行裏急後重惡心嘔氣且ツ不快ノ惡臭アル風氣ヲ出ス**アドース**五瓦ヲ一日三回分服數日ニシテ下痢回數半減第五日以後全ク整腸諸症消散ス

（醫學博士 甲田猶之助氏 報告）

急性大腸炎

山○伊○ 十七歳

食餌不攝生ニ次イデ裏急後重下痢一日十回粘液便体溫三十八度七分、字狀部ニ硬結ヲ觸レ壓痛ヲ訴フ**アドース**五瓦ヲ頓用セシメタルニ翌日下痢半減解熱ス更ニ**アドース**五瓦ヲ頓用セシメタルニ發病第四日下痢三回トナリ爾後反覆セルニ第五日以後下痢ハ全ク消失シ鼓腸モ全ク消失シ全快ス

（醫學士 五十嵐雄二氏 報告）

大腸カタル

橘○勇○ 五歳

下痢一日六七回粘液ヲ混ゼル不消化便ヲ排泄ス左大腸部壓痛アリ**アドース**六錠ヲ分服セシメ下腹部溫罨法ヲナサシム翌日下痢止ミ全治セリ

急性腸カタル

齊○二○ 十歳

前日水泳及食事不攝生ヨリ腹痛下痢アリ体溫三十八度五分腹部緊張壓痛アリ下劑ヲ投與シ後**アドース**九錠分三回投與ス翌日ハ下熱シ食慾大ニ振フ加療四日ニシテ全治ス

吸著療法とは

これまでの化學療法や生理作用に影響するような藥劑さては効くか効かぬか判らぬような藥と違ひ誰がどんな場合に服んでも腸內の惡い毒素や粘液病原菌などをドシ〳〵藥が吸ひとつて然も腸の作用を損せずに体外に排泄して仕舞ふ所謂物理療法を云ふのです從つて服めばキツト効くことのハツキリ判つた藥で赤坊でも大人でもほんとに安心して用ひられチフスや粘血便などで高熱の場合に服んでも何等の副作用もなく完全に奏効します　故に「**アドース錠**」が各地帝國大學病院官公私立大病院傳染病院などで吸著療法劑として盛んに賞用されてゐるのも宜なる哉であります

糖衣錠（白錠）
一五錠入 廿戔　五〇錠入 五十戔
一三〇錠入 一円　五〇〇錠入 三円五十戔

錠劑（黒錠）
一〇〇錠入 六十戔　五〇〇錠入 二円
一〇〇〇錠入 三円八十戔

「夏の衛生」（小册子）申込次第無代進呈

株式會社 藤澤友吉商店 大阪市東區道修町二・京城支店 京城府西小門町四二・大連出張所 大連山縣通リ七